



Light Up Rotary

第2780地区
大磯ロータリークラブ



2014～2015年度RI会長
ゲイリー-C. K. ホアン

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

★事務所：神奈川県中郡大磯町国府本郷546大磯プリンスホテル内 TEL：0463-61-1111(木) TEL/FAX：0463-36-2255

★例会：毎週木曜日 12:30～13:30 大磯プリンスホテル TEL：0463-61-1111 FAX：0463-61-6281

会長 守屋 紀忠

会長エレクト 片野 一雄

幹事 原 千明

第2293回 例会 平成26年8月7日 (晴) No.6

■司会：大藤 勉 ■点鐘：守屋 紀忠 ■合唱：君が代・奉仕の理想

◇プログラム ・8月21日：斎藤 好正さん ・8月28日：片野 一雄さん ・9月4日：原 卓さん、理事会

◇出席報告

例会	会員数	出席数	出席率	メークアップ	修正出席率
2293回	19(18)	13	72.22%	—	—
2291回	19(16)	12	75.00%	—	—

◇欠席者(5名) 小林、宮澤、石山、原卓

斎藤(正)さん

◇メークアップ(0名)

◇おめでとうございます



誕生日祝：

片野一雄さん(8/20)

お暑うございます。今日は誕生日(第83回)の御祝いを頂き有り難うございます。笹尾さん、河本さんがおられるのでまだまだ頑張らなくてはと思っています。8月生まれなので夏には強い暑なんです、歳と共に弱くな

ってきました。血圧はクリアしたのですが、加齢による脊柱管狭窄症=脊柱を通過している神経が圧迫される病気=で会合をドタキャンしたりで迷惑をお掛けしていますが、今後は未病息災でクラブに貢献することをお約束します。



大藤 S A A：今日の食事は冷製スープとパエリア風カレーで、料理長さんの気合いが入っています。

出席報告：井上浩吉さん

◇一言：大磯の歴史

新島襄について

同志社大学を創立した新島襄(にいじま ゆずる)は女学校は早々立ち上げたにですが、その後大学を建てるために募金活動を始めました。病気がちだったので、暖かい土地と言われた大磯に来て宮代謙吉が営業していたむかで屋旅館に投宿したのが明治22年12月年の押し詰まった頃でした。下僕を一人連れてやって来ました。その頃に新島襄が自分の気持ちを詠う詩が幾つかあります。すべて漢詩ですがその中で私が好きな寒梅と言う詩があります。



井上浩吉さん

寒梅

庭上一寒梅
笑侵風雪開
不爭又不力
自百花占魁

新島襄 作

庭上の一寒梅笑って
風雪を侵して開く
争わず又力めず
自ら百花の魁を占む

この時病気がちであったにも拘わらず-当時大磯は土地ブームになっていたようで-新島裏は土地を買って値上がりを待って、土地を売れば同志社の建設資金の足しになるだろうと、土地の手当てをしていたようです。そして値上がりした土地を売って、それを同志社の資金にしたという話を聞いたことがあります。

その当時大磯の土地はどのくらいしたか？
明治18年に松本順が海水浴場を開設した後、別荘が方々に出来、東京銀座の土地の時価の10分の1くらいの値段もしていた。大磯は土地バブルであったと言う記録が残っています。

◇会長報告

2週間ぶりです！天気予報では明後日からは少し涼しくなるようですが、健康には気をつけて下さい。昨日あたりは私も3時過ぎまで外に出ませんでした。とてもじゃないけどクラクラ病になりそうだったので…。

1. ガバナー月信 8月号

14頁に2013-14年度ロータリー財団寄付及びDDF（地区活動資金）の使用状況報告のクラブ別リストに「命を繋ぐ救急救命学習、中学生を通じて（大磯）」と記載されています。

15頁には新会員の紹介が出ています。22名ですが、昨日の会長・幹事会での報告はもっと多かったです。田中新会員の紹介は9月号になります。

2. 理事会報告：

1) 夜間例会：

2014年9月18日 18時点鐘

大磯プリンスホテル「李芳」個室

会費：なし

新会員・田中敏治さん歓迎会

田中さんイニシエーションスピーチ

会員の1分間スピーチ

花束贈呈

2) 会務分担変更

新会員田中さん出席委員に

出席委員の百瀬さんを会報委員に

3. 第8グループ会長・幹事会報告

1) 2014-15 I Mについて



守屋 紀忠会長◇

日程：2015年2月7日

場所：ホテル・ライフガーデン

主宰：第8グループ・ガバナー補佐

加藤 勇(平塚北)

実行委員長：梅原謙司(平塚北)

副実行委員長：第8Gクラブ会長

テーマ、講師：未定

2) 2016年規程審議会提出立法案(6件)を大磯クラブで審議し、その結果を地区大会で賛否投票します。

3) 2015年サンパウロ国際大会参加募集：

日時：2015年6月6日~9日

旅費：エコノミー=60万円、

ビジネス=125万円

4) 今年度交換留学生：カナダより。ホスト平塚湘南RC、江南高校通学。支援金：会員一人当たり3千円。

4. 米山梅吉秋期例祭：9月13日（土）14時より米山梅吉記念館ホール

◇幹事報告

1. 回覧

1) 東京江東RCより全国ロータリークラブの現況・活動・運営に関するアンケート 調査返信依頼。

2) 2015年サンパウロ国際大会(前出)

3) 米山梅吉翁秋期例祭お知らせ、館報送付、

賛助会員入会(年会費3千円)依頼

4) 大磯町姉妹都市協会より第30回・国際姉妹都市高校生派遣事業渡航報告会のお知らせ

5) 会報：志木RCより5回分

2. 引き続き皆様出席をお願い致します。

◇委員会報告

☆スマイルボックス

太田 知加子さん

・守屋 紀忠さん：片野さん誕生日おめでとうございます。何歳になりましたか？

・河本 親秀さん：片野さん誕生日おめでとうございます。何時までも元気です！！本日卓話やらせて頂きますのでよろしくお願い致します。

・片野 一雄さん：本日は、私の誕生日にさいして皆様方のお祝いのことばをいただき有難うございます。今後、大磯ロータリーの発展のため努力する所存です。

・太田 知加子さん：片野先生お誕生日お芽出度う



原 千明幹事

ございます。河本先生のお話楽しみにしています。

振り込め詐欺

1. 笹尾政儀さんの例：

昨日大磯町役場の職員を名乗る男から電話があり、「還付金があるので」と言われたので、「それでは中南信用金庫本店の口座に振り込んでくれ」と言うと、一旦電話が切れ、暫くすると中南使用金庫です。大磯駅前のATMまで、キャッシュカードを持って来て下さい。」と言う。すぐ行こうと思ったが、そこに仲南信金の人がいるかどうか、金庫に尋ねたら、居ないと言われたので、それでは私にはわかる筈がないと思ったので、駅の方に行かないで、本店に行ったら、「笹尾さんそれは詐欺だよ！！」と言われた…。

会場から：そういう事があるから注意して欲しいという知らせが町役場から来ていた！

笹尾さん：それで昨日早速来たよ（笑い）

2. 鈴木勝さんの例

オレオレ詐欺の電話が掛かって来て、女房が出て、私は側にいたんだよ。「大磯駅に鞆を忘れた」とか。「身体の具合が悪いので、病院で点滴を受けているうちに鞆を盗まれた。すぐに警察に電話した。警察からそちらに電話があるはずだから…」と電話がありました。うちのはしょっちゅうテレビで見っていたので、「あんた誰！」と言ったら電話切っちゃった。後から聞いたのは、息子さんが江南高校に入った家は殆どやられたそう。中丸の弟に電話したら、やはりオレオレ詐欺の電話が掛かって来たので、警察に電話したら、あなたの息子さんは何処の高校を出たかと聞かれた。江南高校だと言ったらやっぱりそうかと言われた…。

会場：名簿が漏れているから…。

笹尾さん：うちは孫が江南出ている…。

この後オレオレ詐欺の事例や被害額などの話題で大いに盛り上がった。

◇ 卓 話

◆◆◆ロータリーの歴史◆◆◆

- ・ 何故奉仕する人々の団体に生まれ変わったか
- ・ 現在推奨の社会奉仕の定義

河本親秀さん



種々卓話の内容について考えましたが、現在クラブ研修リーダーであるので、やはりロータリーの事についてお話することにさせていただきます。

ロータリーは1905年（明治38年）2月23日に創立されましたが、当時のアメリカは社会変動期で、あらゆる人種、信条、文化の垣間で、シカゴは犯罪、汚職、暴力の巣窟で、利己主義、悪徳商法が横行していました。

当初4人のメンバーによって掲げられた目標は親睦と会員の利益向上だけでありました。にも拘わらず、ロータリーが奉仕する人々の団体に変わって行ったのは何故か？について考察したいと思います。そして今後シリーズとして4大奉仕等についてお話できればと考えています。添付のパワーポイントを参照下さい。

P P T 3-4頁：

リーダーのポール・ハリスが第1回会合で提案した5項目が今日のロータリーの骨格をなしています：

第1：私達が皆、かつて田舎町で味わった相互協力と打ち解けた親睦という非常に単純な構想がクラブの基本である。この田舎育ちの会員が大きなポイントです。

第2：業種で一人の会員

第3：男同士（1985年裁判により女性会員を認める訴訟にR I が破れ現在は女性会員もOK）

第4：多くの取引をもたらしてくれそうなクラブ

P P T 5 頁：

1905年10月決定のロータリーの目的：

1. 会員の事業上の利益の増大
2. 通常の社交クラブに付随する親睦

毎例会、前週の会員間の取引額を幹事が報告した。
(会員数は10月30名、年末80名)

P P T 6 頁：

多くの会員が農村部出身者で、農村部では困った人を助けることは疑問の余地のない当然の奉仕と見なされていました。ロータリアンの私欲的な動機を非難する新聞記事がちらほら登場したこともあったが、それよりも会員が社会に対する還元、地域社会をより良い場にするための貢献を望んでいました。

そこへ今では「社会奉仕の父」と呼ばれる特許弁護士ドン・カーターが入会し1905年に定めた目的に「シカゴ市民の最大の利益を推進する」項目を付け加えました。

P P T 7-8 頁：初めての社会奉仕

イリノイ州の説教師の馬が死んで説教師が教区民の間を廻ることが出来なくなった。彼は非常に貧しく馬を買いかえることができなかった。それを知ったシカゴクラブが素早く反応し、2週間のうちに説教師のための馬を買った。この単純で自発的な捧げる行為がロータリアンが最初に行った社会奉仕であった。

援助を出来るという事実が会員の士気をどれほど高めたかに留意したクラブは他にもこのような機会がないかを探し始めました。数週間後ポールがシカゴの商工会議所の会合に出席した時、シカゴの中心部に公衆便所が必要だと人々が話しているのを耳にしました。当時女性の使えるトイレ施設は百貨店の中にしかなく、男性は多くの居酒屋の中にあるトイレを使わなくてはならなかった。この施設を利用する代わりに何かを買うと言う暗黙の了解があった。

シカゴクラブが男女用の公衆便所を市役所ビルの外側に立てる事を提案したが、たちまち厳しい反対に遭った。シカゴ醸造組合はその組合員である6,000軒の居酒屋に既に十分な男子トイレがあると主張し、百貨店組合は飲み屋の経営者を応援して百貨店に行けばトイレは使えると主張しました。

シカゴクラブの有力者の何人かが他団体の支援を求め、この2年に及ぶ反対運動を戦い抜きました。その一人フレッド・バシーは郡政委員会の会長に選出され、2万ドルの補助金をクラブに援助し、このプロジェクトを完遂しました。このプロジェクトを

主導したのは当時の会長を務めたポール・ハリスでありました。

この公衆便所は数十年後まで使われ、ロータリーの奉仕のシンボルとなり、社会奉仕の概念がロータリーの心の一部として定着することとなりました。

P P T 8 頁

1910年全米ロータリークラブ連合会の目的が5項目に増え、その中に「高潔なビジネス方法の推進（職業奉仕）」が出て来ました。

P P T 10 頁：

社会奉仕の実践は全米に広がり、その内容は世間に大きく喧伝されました。

P P T 11 頁：

1915年には全米ロータリークラブ連合会の目的は6項目となり、**個人会員の事業上の利益の増大という項目は消えました。**

その後ロータリークラブは全世界に広がりましたが、その中心には社会奉仕の概念／実践がありました。

P P T 1 2 頁：

創立以来ロータリーの奉仕は静かに匿名で行うものという不文律がありましたが、P P T 10、13頁にあるように華やかに世間の目を引く存在になっていました。



P P T 14-15 頁

1920年代に入り、益々社会奉仕はロータリー活動の中心を占めるようになって来ていました。ロータリーの奉仕は個人が静かに匿名で行うべきで、個人奉仕こそあるべき姿派と、クラブ（団体）で社会奉仕する事こそロータリーの使命とする派に対立し、ロータリーは分裂の危機にありました。この時1923年セントルイス国際大会に両派の融和を図るために提案され、全員から熱烈に賛成支持されたのが有名な決議23-34です。これによってロータリーの奉仕／特に社会奉仕の概念が定着したと言われています。

ロータリーは何故奉仕する人々の団体に変わった

か？

ロータリーが当初掲げた親睦と会員利益の増大という目的が、クラブの拡大／増強と活動を通じて徐々に奉仕する団体へと変貌したのは、創立当初の会員の中で田舎出の人達が多く、困っている人達を相互扶助の精神で助け合うのが当然という心の持ち主が多かった事が第一、次に一業種一人の会員構成で多様な人達が会員であった事、そして奉仕の実践を通じて多くのことを学び、それを組織としてロータリーの哲学にまとめ上げたリーダー/人材が多くいたからであります。（後日これについて勉強したいと思います。）

その集大成がロータリーの目的（綱領）として示されています。

P P T 16-17頁：ロータリーの目的

現在の国際ロータリーの綱領→目的は1951年に設定されたものですが、日本語訳は難しいと2013年に現在の最新訳に修正されました。（英語の原文は不変です）

R I 推奨の社会奉仕

P P T 18頁

近年、先進諸国は福祉政策に力を入れてきたためにロータリーの社会奉仕の機会は減ってきているが、まだまだやるべき事があるという1971/72年度R I 会長アルンスト・ブライトホルツ氏の言葉

P P T 19-20頁：

現在R I が推奨している社会奉仕の定義と社会奉仕活動のあるべき姿を述べたものです。だんだんロータリーの社会奉仕の広報を強化する方向にあります。

P P T 21頁：

本年度我が2780地区のガバナーのテーマです。五つの「カンドウ」で「自分自身に輝きを」！！

以上